

第1学年2組 美術科学習指導案

指導者 ○○ ○○○

1 題材名 「大切な人にメッセージを送ろう～カードに気持ちをのせて～」

2 題材と生徒

(1) 生徒の実態について

生徒は今までに、形による違いのイメージの変化や色彩による感情への効果について考えるなど、色や形についての基礎的な学習を行っている。自分なりの見方、感じ方を大切にしながらも、友達の作品に興味をもち、自分との違いから学ぼうとする様子が見られるなど、楽しんで造形活動を行っている。

事前のアンケート調査では、「美術が好きである」という項目には肯定的な回答が100%、「美術で表現することが楽しい」という項目に対しても、93%の生徒が肯定的な回答をしている。このように、授業に意欲的に取り組むことができる雰囲気をもっている学級である。「紙工作」は、生徒にとっては、「丁寧で正確な作業ができない」「イメージした形に、近づけていく方法が見付けられない」という理由から難しさを感じる生徒も現れると予想される。そのために、生徒同士が助言し合う時間を設けたり、紙の表現技法を発見したり試したりする時間を確保しておく必要があると考える。また、サンプルを見ただけでは着手が困難な生徒のために、繰り返し見ることのできる動画資料なども用意しておきたい。

本題材では、伝える相手を想いながら、今までの学びを生かして形や色彩や技法を工夫できるよう、客観的な視点も大切にしながら取り組ませるようにしていきたい。また、紙の特性やよさについても学ぶ機会となるようにしていきたい。

(2) 題材について

本題材では、気持ちを伝える「飛び出すカード」を紙の特性や今までの学びを生かしながら、試行錯誤を繰り返して表現したり、鑑賞したりすることを通して、表現と鑑賞に関する資質・能力を育成し、生活を豊かにする美術について考えるものである。

本題材では、紙という素材の可能性を知るために、必ず1か所以上に切り起こしなどを用いるという条件を出すことで、生徒は飛び出す構造などを試行錯誤しながら制作する。

なお、鑑賞では、完成された「飛び出すカード」から、形や色彩の工夫点や「飛び出すカード」の構造について考える活動が、表現の意欲につながるようにする。

生徒は、自分の好きなように装飾するだけでなく、相手の喜ぶ顔をイメージして、どのように装飾するかを考える。その活動を通して、他者に心情を伝えられるよう形や色などを工夫し心豊かに表現する力と、他者の心情や表現の工夫を感じ取り味わう力が高まり、対象の見方や感じ方が広がることが期待できる。

また、メッセージカードは作った作品を身近な人に渡し、交流を深めるということもあり、生徒が意欲的に表現できる題材である。作品を通して、自分が伝えたい内容について分かりやすさや美しさなどを考え表現する学習が、今後の表現活動の充実にもつながっていくと思われる題材である。

(3) 指導の手立てについて

この題材では、自分の思いを届けるメッセージカードの制作を通じて、紙の性質を理解し紙で様々な表現をするための加工方法を身に付けながら学習できるようにしていきたい。そのために、生徒のもつ知的好奇心を刺激し、「身に付けたい」「自分でも工夫してみたい」と思えるように促すことが大切である。そのためには、基本技法を伝えるだけではなく、「自分で考え工夫する時間」を設定することが重要である。鑑賞においては、完成された「飛び出すカード」を用意し、そこから工夫点や「飛び出すカード」の構造を考える学習を取り入れる。「飛び出すカード」は何種類か用意し、平面から立体が飛び出る面白さを感じられるようにする。「飛び出すカード」については、グループで話し合いながら試行錯誤できる時間を設けて、構造について理解を深めるとともに、制作の不安を取り除き、学びを生かして、

自分で学習を調整していくようにしたい。

また、伝える相手がどのようなものが好みなのか、「飛び出すカード」を開いた瞬間に笑顔になるかなど、伝える相手のことを考えて構想を練るように促す。そして、アイディアスケッチの段階で、一人一人のシートにコメントし、次の時間に向けて生徒がさらに試行を深められるようにする。また、対話的な学びの時間を確保し、相互評価などを通して客観的な視点を意識させながら学習に取り組めるようにしていきたい。

3 題材の目標

- (1) 紙の特性を活用した形や効果を適切に使い、表現することができる。 (知識・技能)
(2) 自分の伝えたい内容を色や形を工夫して表現している。 (試行・判断・表現)
(3) 伝えたい「想い」を意識し、積極的に素材を選び、加工法を組み合わせ表現しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

4 全体計画 (総時数 6 時間)

時数	ねらい・学習活動等	評価の観点			評価の方法と指導の留意点等
		知	思	主	
1	○誰にどんな気持ちを込めたカードを送るか構想を練る。 ・伝えたい「想い」を意識し、表現につなげる。			○	・題材提示に対して興味・関心がもてるようにする。 (アイディアスケッチ・学習シート・発言)
1 本時 2/6	○飛び出す仕組を探る。 ・基本的な飛び出す仕組をもとに、その仕組を分析的に理解し、その発展方法を自分なりに試して見付け、友達と交流し合う。	○	○		・飛び出す仕組を自分なりに積極的に探すことができるようする。 (試作・学習シート) ・互いの気付きや発見を積極的に交流できるようする。 (発言・学習シート)
1	○表し方の構想を練る。 ・試してみた飛び出す仕組をもとに、どのようなデザインにするか考える。	○	○		・前回の「試し」の中で工夫したことを探し、自分のテーマとの関連で着想できるようする。 (アイディアスケッチ・学習シート)
2	○メッセージカードを作る ・いろいろな種類の紙を効果的に使い、構想にもとづいて制作を進める。 ・「切る」「折る」「貼る」などを正確で美しく仕上げていく。	○		○	・いろいろな種類の紙を補助的に利用し、可動部や接着部分の強度も考えながら制作できるようする。 (観察) ・構想を基に色や仕組を効果的に活用できるようする。 (観察) ・道具などを正しく安全に活用できるようする。 (作品評価・観察)
1	○想いや工夫を紹介し合う ・完成したメッセージカードを互いに紹介し合い、よいところや課題を整理する。			○	・自分が伝えたかった想いを発表し、作品に盛り込んだ工夫を紹介し、また、自他の作品のよさを感じ取ることができるようする。 (発表・発言・学習シート)

5 本時の計画

(1) ねらい

基本的な「飛び出す仕組」をもとに、その発展方法を自分なりに試したり、友達の工夫を見付けたりすることができる。

(2) 展開

過程	学習活動・ 主な発問等	想定される生徒の学習状況
導入	1 数種類の「飛び出すカード」を鑑賞し、工夫点について考える。 2 「飛び出すカード」の基本的な構造を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「面白い、飛び出すところがいいなあ」 ・「色彩が鮮やかで、開いたらうれしい気持ちになるなあ」 ・「飛び出している部分はどんな仕組になっているのかな？」 ・「『切り込み』や『折り曲げている』部分があるよ」 ・「山折り、谷折りの部分があるよ」
自分なりの発展型の「飛び出し方」を見付けよう。		
展開	3 見本、図、動画などを参考に、基本の「切り込み」「折り曲げ」を試してみる。 4 基本から発展して、自分なりの「飛び出し方」を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・切る回数、長さ ・折り返す回数（山折り・谷折り） ・台紙の形 ・開く向き 5 自分の考えた「飛び出す仕組」を友達と紹介し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「飛び出さないな。友達はどのようにやっているのかな？」 ・「ここを切るといいよ」「あ、そうか」 ・「動画を見ながら試してみたら、自分もできたよ」 ・「基本の仕組を組み合わせてみよう」 ・「台紙も形を変えてみよう」 ・「おもしろいね」 ・「これはどうやって作ったの？」 ・「ロイロノートの資料箱のヒントを参考にしてみよう」 ・「見付けた仕組をロイロノートに記録しておこう」 ・「ロイロノートに載っている友達の作品に興味がある。見に行こう」
まとめ	6 自分の考えた「飛び出すカード」について発表し合い、本時の学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・工夫したこと ・気付いたこと ・考えたこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・「飛び出すカードの仕組がよく分かった」 ・「基本をもとに何種類かの方法を考えることができたよ」 ・「友達に教えてもらいながら、自分も工夫することができた」 ・「次の時間は友達の作品を参考に付け足してみよう」

指導の目的と手立て	見取りたい生徒の学習状況
<ul style="list-style-type: none"> カード作りへのイメージが膨らむように手作りのカードを見せる。 平面から立体が飛び出るおもしろさを感じられるようなカードを数種類準備しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の発問に対して発言したりつぶやいたりして反応を示している。 気持ちを伝えることに興味をもち、活動している。 意欲的に鑑賞し、作品の色や構図のよさや美しさに気付いている。 友達の発言にうなづいたり共感を示したりしている。
<ul style="list-style-type: none"> 基本の「飛び出すカード」の作り方を教師が演じるだけでなく、図に表したり動画で視聴できるようにするなど、自分の分かりやすい方法を選ぶことができるように準備しておく。 「飛び出す仕組」について、井戸端会議的に友達と関わりながら試行錯誤できるようにする。 <div data-bbox="198 1134 801 1257" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 「飛び出す仕組」のヒントとなる動画を必要に応じてタブレットで見ることができるようにしておく。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを提示して、見通しをもって取り組むができるようにする。 探究心を高めることができるように、発展型の「飛び出す仕組」の例も提示する。 客観的な視点を意識できるように、友達と考えや試作品等を紹介し合う時間を設ける。 <div data-bbox="198 1560 801 1740" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 自分なりの仕組を見付けたら作品をロイロノートに取り入れて、自由に見てもらうようにする。実物を見たい作品があつたら井戸端会議的に情報を交換し合うようにする。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 基本の飛び出す仕組を理解するために、自分に合った方法を見付けようとしている。 何度も試してみながら、飛び出す仕組を自分なりに解明しようとしている。 分からぬことを友達に聞いたり、悩んでいる友達に基本の切り方、折り方等を教えたりしている。 <div data-bbox="849 1358 1421 1605" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な仕組を組み合わせたり、新たな仕組みを考えたりしながら試行錯誤している。 互いの気付きや発見を積極的に交流している。 </div>
<ul style="list-style-type: none"> 独創的な作品をいくつかピックアップし、黒板の前にみんなを集めて紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の構想のよさを見付け、それを伝え合っている。 自分の作品の改善点や発展方法について振り返りシートに具体的に記述している。

